

電子版センターだより



Gunma Prefectural Education Center

群馬県総合教育センター - No.20 -

平成30年11月30日(金)配信

< 掲載内容 >

	頁
1 「ぐんま教育フェスタ」を、平成31年2月2日(土)に開催します!	1
2 「教科等リーダー養成研修」を通して、 各教科等の専門的な指導・助言力の向上へ!!	2
3 早期からの教育相談・支援体制の構築について	3
4 「幼保こ小の連携・接続に関する実態調査」について	4
5 カリキュラムセンターの紹介	5
6 教育相談技術認定について	6
7 総合教育センターへ来所される方へ	7

* 編集後記 *

「ぐんま教育フェスタ」を、平成31年2月2日(土)に開催します!

「共に学び 未来にはばたく ぐんまの子ども」を育みましょう

「ぐんま教育フェスタ」は、学校、家庭、地域の様々な人たちが、次代を担う子どもたちを育むために、ぐんまの教育の在り方について考える催しです。「共に学び 未来にはばたく ぐんまの子ども」をテーマに、確かな学力、豊かな人間性、健やかな体の育成に必要な最新の情報を発信します。学校や教育を取り巻く状況や社会全体が大きく変化する今、どのような教育が求められているのでしょうか。「ぐんま教育フェスタ」で一緒に考えてみませんか?

開催日時 平成31年2月2日(土) 午前9:50～15:45 (受付 9:20～)
上記の時間内で随時入退場できます。
会場 群馬県総合教育センター 伊勢崎市今泉町一丁目233番地2

このような催しを行います

催し	詳しい内容	時間
オープニング・ ぐんま教育賞表彰式	オープニング ぐんま教育賞表彰式(「杉の子賞」入賞者表彰)	9:50～10:30
研究発表	研究概要展示 (研究員・長期研修員・長期社会体験研修員・特別研修員) 研究発表 (研究員・長期研修員・長期社会体験研修員)	9:50～15:45 10:40～11:10 11:20～11:50 12:00～12:30
特別講演 	演題「開け! 未来の扉を」 講師:山田 耕介 氏 (前橋育英高等学校 校長・サッカー部 監督) 高等学校長として学校経営の先頭に立ち、同時にサッカー部の監督として全国制覇を成し遂げた山田先生から、人材やチーム育成の考え方やポイントについてご講演いただきます。	14:00～15:30
参加者体験・ 展示	特別支援学校の作業学習製品展示販売 メンター研修の実際 在外教育施設の紹介 専門高校による「そば打ち体験」 小学校プログラミング教育の教材体験 特別支援教育教材・支援機器等展示 「校旗を作ろうプロジェクト」展示・発表 「統計グラフ群馬県コンクール」作品展示 豊かな心を育む絵本の世界 ワークショップは12:30～14:00に行います。	10:30～12:30 12:30～14:00 9:50～15:45

「特別講演」には、事前参加申し込みが必要です。
詳しくは、Webページをご確認ください。【 http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=535 】

「教科等リーダー養成研修」を通して、 各教科等の専門的な指導・助言力の向上へ！！

「教科等リーダー養成研修」の目的

小・中学校所属の16名の先生方が、「教科等リーダー養成研修」(講座コード2320)に参加しています。この研修の目的は、「教科等指導に係る専門的な指導力を活用し、所属校や地域の学校等における授業改善の指導的役割を果たす力を身に付ける」ことです。5年目経験者や特別研修員の授業づくりに向けた協議に参加して助言したり、研究授業を参観して指導・助言を行ったりします。

<昨年度受講者の声>

- ・子供の変容だけでなく、そこにつながる教師の関わりや準備、思いなどに意識が向くようになった。
- ・授業におけるねらい、言語活動、振り返りの整合性、一貫性の重要性を改めて感じた。

<指導主事の声>

- ・授業者が目的を達成できるように、指導案を読み込んでいた。授業中も子供たちの姿を詳細に記録し、改善点について具体的に助言していた。

今年度、9月12日(水)に5年目経験者の授業づくりに向けた協議に参加し、これまでの経験を踏まえながら指導・助言しました。5年目経験者は具体的な助言を受けることで協議が深まっていました。同時に、教科等リーダー養成研修受講者も、若手から多くの刺激を受けていました。

当センターでは、群馬県教員育成指標を踏まえて研修を体系化した「ぐんま教職員ステージアップシステム」(群馬県総合教育センターWebページ参照)に基づいた研修を実施しています。「教科等リーダー養成研修」に参加していただいている先生方は、「ぐんま教職員ステージアップシステム」のキャリア段階に該当します。

キャリア段階にある先生方は、学校経営に参画し学校をリードしていく先生方です。具体的には、「学校全体の学習上の課題について、解決に向けた具体的な手立てを提案する」、「教育課程の改善に向けて具体策を提案する」といった力が求められています。

今後も、当センターではキャリア段階にあたる先生方を対象にした研修の充実を図っていきたいと考えています。多くの先生方の参加をお待ちしています。

自分の経験をアドバイスしてもらい、役に立つことができうれしかった。



5年目の先生方がとても発想豊かに授業について考えられていて、指導・助言しながらも、勉強させられることが多かった。

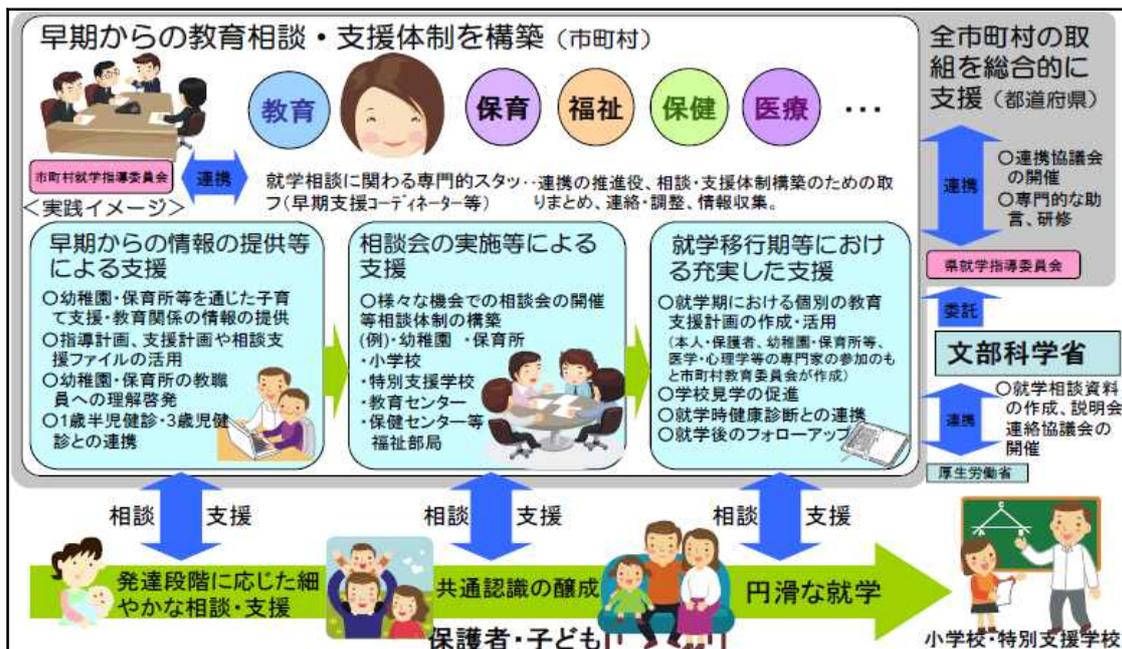


早期からの教育相談・支援体制の構築について

障害者基本法を受け、特別支援教育の更なる充実に向けて早期からの教育支援が求められています。

1 早期からの教育相談・支援体制構築の概要

図のように、特別な支援が必要となる可能性のある子供及びその保護者に対し、各市町村が早期から情報提供や相談会の実施等に取り組み、柔軟できめ細やかな対応ができる一貫した支援体制を構築するとともに、都道府県は、市町村の取組や体制の構築を総合的に支援することが求められています。



図「早期からの教育相談・支援体制構築事業（概要図）」より（文部科学省）

2 平成30年度障害児相談担当者連絡会の紹介

市町村における早期からの教育相談・支援体制の構築を支援するため、去る11月7日、群馬県内の教育・保健・福祉等の分野における発達や障害に関する相談担当者による障害児相談担当者連絡会を開催しました。約100名が参加して、情報交換・協議を行いました。はじめに、「渋川市における就学前の発達が気になる幼児の相談事業『のびのび発達相談』～発達スクリーニングと就学までの切れ目ない支援～」をテーマに渋川市健康管理課と学校教育課が連携した取組について、情報提供していただきました。その後、テーマ別の15班に分かれて情報交換会を行いました。参加者の方からは、「様々な立場や地域での支援体制を知ることができました」「自分の職場を見直す良い機会になりました。今後の支援に役立っていきます」といった感想が聞かれました。



全体会の様子



情報交換会の様子

「幼保こ小の連携・接続に関する実態調査」について



幼児教育センターでは、平成29年度に県内の幼児教育施設及び公立小学校に協力いただき、「幼保こ小の連携・接続に関する実態調査」を行いました。この調査は、幼稚園、認定こども園、保育所、小学校における幼保こ小の連携・接続に関する現状を把握し、滑らかな接続を目指した教育課程の編成・改善及び教職員や幼児・児童の交流の在り方等に関する情報発信に生かすために実施したものです。

本稿では、調査結果から見えてきた課題と、その解決に向けての実践的な取組を提案します。

1 接続期の教育課程の編成及び実施の推進

国立教育政策研究所では平成27年に「スタートカリキュラム スタートブック」を作成し、全国の小学校、幼児教育施設に配布しましたが、今回の結果から実際に「スタートカリキュラム」の編成・実施に着手した小学校は42%でまだ多くはないことが分かります。

幼児教育施設では、

- ・教育課程(全体的な計画)の就学が近くになった時期の指導計画に「接続期」と追記しましょう。
- ・3月末、修了時の姿を教育課程(全体的な計画)に明記し、その姿を幼児が進学するすべての小学校に送りましょう。

小学校では、

- ・幼児教育施設から送られてくる修了時の子供の姿を入学時の姿として「スタートカリキュラム」に明記しましょう。
- ・「スタートカリキュラム」の編成・実施をしていない小学校では、学校の財産として蓄積・活用されてきた(新入学児の心情や経験を考慮した)週案を「スタートカリキュラム」としましょう。そして、見直しを行い改善を図りましょう。

2 相互理解に係る合同研修会や保育・授業研究会の実施及び参加の促進と充実

合同研修会を実施している幼児教育施設は41%、小学校は50%でした。さらに、幼児教育施設の内訳を見ると公立幼稚園の合同研修実施率が74%に対して保育所は25%でした。記述回答に複数の保育所から、合同研修会に参加する機会の保障が希望として出されています。

幼児教育センターでは、「夕やけ保育研修会」で幼保こ小の連携・接続に関する研修を充実させます。お近くの会場での研修会にご参加ください。

3 時間的制約がある中での相互理解に係る研修の実施と充実

多くの幼児教育施設や小学校は、新たに研究会や研修会などの時間を生み出すことが難しいと感じているようです。時間的制約がある中で、いかにして相互理解を図る研修会等を実施し充実を図っていくかが、課題の一つとして挙げられます。

保育や授業の映像や写真、エピソードを活用して園内・校内研修で相互理解の推進を図りましょう。

4 保育参観や授業参観の実施率向上と様々な立場の教職員による参観

多くの幼児教育施設や小学校で、連携・接続の推進には教職員同士の参観の必要性を感じていながらも、授業参観や保育参観の実施率は5割程度です。

「いつでも都合がよいときに参観に来てください」というオープンな雰囲気構築を図りましょう。

詳しくは、Webページ(幼児教育センターだより 臨時号)をご覧ください。

【 http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=371 】

カリキュラムセンターの紹介

カリキュラムセンターでは、授業の改善や充実などに役立つ教育資料・図書等を収集し、閲覧・貸出を行っています。

今回は、「特別の教科 道徳」の教科書展示、人権ビデオの貸出、新着図書について紹介します。

「特別の教科 道徳」の教科書展示

平成30年度から小学校で利用している「特別の教科 道徳」の検定教科書を展示しています。展示している教科書は、カリキュラムセンター内で閲覧ができます。

また、平成31年度より中学校で利用される教科書も展示を始めました。来年度の実施へ向けて、参考にしてください。



「特別の教科 道徳」の教科書展示

人権ビデオの貸出 ～人権週間に映像資料を活用してみませんか！～

12月4日(火)～12月10日(月)は人権週間です。

人権週間前後は、映像資料の貸出希望が多くなりますので、早めにお問い合わせください。

今年度の新着ビデオ・DVD

- ・障害のある子 障害のない子～ちがいを認めて助け合おう～
- ・わっかカフェへようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～



人権映像資料コーナー

また、映像資料には、DVDの他にVHSがあります。Webページ〔教育用ビデオ・DVDソフト一覧(あいうえお順)〕【http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=447】でご確認いただき、お申し込みください。

貸出本数：1校あたり1度に3本まで

貸出期間：1週間

新着図書の紹介

以下の図書を新たに配架します。ご活用ください。

特別の教科 道徳

道徳科授業サポートBOOKS

「特別の教科 道徳」のユニバーサルデザイン 授業づくりをチェンジする15のポイント

小学校プログラミング教育

これならできる小学校教科でのプログラミング教育

生徒指導・教育相談

普通の教師が"普通に"生きる学校 モンスターペアレント論を超えて

それでも親はモンスターじゃない

先生の叫び 学校の悲鳴

「迷惑施設」?としての学校 近隣トラブル解決の処方箋



当センターにお越しの際は、是非、カリキュラムセンターをご利用ください。

なお、カリキュラムセンターの開室時間は、火曜日～金曜日(9:00～17:00)となっております。

詳しくは、Webページをご覧ください。【http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=68】

教育相談技術認定について

教育相談技術認定制度は、昭和43年に創設され、半世紀となる歴史をもつ群馬県独自のものです。毎年、多くの教職員に申請をいただいております。認定を受けた方々は、初任者研修等の基幹研修や教育相談初級・中級研修講座等で学んだことを、日々の子供たちへの指導、保護者や地域との信頼関係構築のために生かしていただいております。申請書の提出日程等をお知らせしますので、多くの方に申請していただければと思います。

平成30年度 群馬県教育研究所連盟 教育相談技術認定

目的

学校（幼稚園、幼保連携型認定こども園を含む）及び教育研究所における教職員の生徒指導・教育相談技術の向上を図り、もって教育課題の解決に資する。

申請資格

申請資格は、各級の と の要件を満たす者とする。

(1) 初級

学校又は教育研究所の教職員として2年以上の勤務経験を有する者
「教育相談初級研修」をすべて受講している者

(2) 中級

初級の認定後、学校又は教育研究所の教職員として3年以上の勤務経験を有する者
「教育相談中級研修」をすべて受講している者

(3) 上級

中級の認定後、学校又は教育研究所の教職員として3年以上の勤務経験を有する者
次のア～ウを合計して3年以上の経験年数を有する者

ア 生徒指導主事、生徒指導主任の経験

イ 教育研究所における相談業務（年間を通して週1回以上行ったもの）の経験

ウ 群馬県総合教育センター及び教育研究所における生徒指導・教育相談研修の講師・指導助言の経験（年1回以上の経験を年度ごとに1年とする）

申請期間及び締切日

(1) 持参する場合

- ・ 申請期間 平成30年12月5日（水）・6日（木）
- ・ 受付時間 10:00～17:00

(2) 郵送する場合

- ・ 平成30年12月6日（木）必着

申請書について

申請書は、各教育研究所及び各校・園に配布した実施要項をコピーして使用してください。また、当センターWebページからもダウンロードすることができます。

【 http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=383 】

防寒対策をお願いいたします。

まもなく本格的に冬入りし、厳しい寒さが予想されます。当センターでは、適時空調を調整し、来所された方が快適な環境の中で研修等に参加できるよう努めております。

しかしながら、温度の感じ方には、個人差があり、暖房を使用しているにもかかわらず寒さを感じる場合があります。

研修等の受講に際しては、温度調節が可能な服装（上着、ひざ掛け等）でお越しください。

ご理解・ご協力をお願いいたします。



* 編集後記 *

読書をしたり豊かな実りを味わったりして秋の夜長を楽しもうと思っていたら、明日から12月、師走です。もう少し秋を感じていたかったのは私だけでしょうか。子供たちが大好きな歌「きのこ」を思いだし、晩秋の余韻に浸っています。この歌を子供たちと一緒に歌っていると、生きる力がみなぎってきます。

き・き・きのこ、 き・き・きのこ、 のこ のこ のこ のこ 歩いたりしない

き・き・きのこ、 き・き・きのこ、 のこ のこ 歩いたりしないけど

雨が降るたび降るたびに 背が伸びてく るるるるるるる・・・

生きてる 生きてる 生きてる 生きてる きのこは 生きてるポンポラポン

（「きのこ」の元詩は、まど・みちおさんの作詞です。子供たちが歌い継ぐ中で、上記のように変化したようです。）

さて、通算20号となる「電子版センターだより」をお届けします。

本号は、当センターの最新の情報や特色ある取組を紹介しました。これからの教育活動にご活用いただくと幸いです。

また、平成31年2月2日（土）に開催する平成30年度「ぐんま教育フェスタ」の内容を掲載しました。多くの方のご来場をお待ちしています。（T.N）